

[様式 1]

# 事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月25日			
平成15年度	事業コード	21110, 21130	電話	042-769-8241
担当部課名	環境保全部	環境保全	課	環境検査 係
事務事業名	環境監視情報システム整備費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	▼第1章	人と自然にやさしい地域社会をつくれます	事業開始年度
基本施策名	第1節	地球環境の保全に向けた取り組み	14 ▼年度
施策名	第1,3施策	1,総合的な環境施策の推進 3,公害防止対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

大気汚染防止法第22条
-------------

3 事務の区分

法定受託事務 ▼

4 経費の区分

投資的経費 ▼

5 事務事業の分類

市単独事業 ▼

6 受益者負担

なし ▼

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか		(2)対象(誰、何)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内10箇所に設置された大気・水質常時監視測定局の測定値を、電話回線を利用したテレメータシステムにより、5分間隔で事務室に送信し、市内環境を、リアルタイムかつ一元的に常時監視する。</li> <li>24時間稼働の自動通報システムにより、測定値の異常に対し、夜間休日を含め、迅速な対応を図る。</li> <li>システム化により、測定結果の集計業務、情報提供業務の合理化を図る。</li> </ul>		市民全般 環境に関する情報	
		対象数	61.5万人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容			
環境監視情報システムを導入、H15.3から稼働開始させた。			
システムはリース契約とし、H14年度リース期間はH15.3の1ヶ月分のみ			
(4)個別計画の概要		概要	
計画名			
計画年次	年度～	年度	

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	異常時における迅速な対応	通報発令後30分以内に対応を実施した件数/通報発令件数	自動通報システムにより迅速な対応が図れたかをみる。	-	-	100	100	100
	テレメーターシステムの稼働率	(本年度テレメーター稼働日数÷365日)×100 H14年度は1ヶ月分	テレメーターシステムの稼働率をみる	-	-	100	100	100

9 事業費等の年度別状況

(金額単位:千円)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
	決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
事業費					
決算(予算)額	0	0	1,772	12,026	12,026
人員・時間数	0	0	20時間	325時間	325時間
人件費	0	0	83	1,352	1,352
その他経費	0	0	0	0	0
合計	0	0	1,855	13,378	13,378
特定財源	0	0	0	0	0
対象数	0	0	615,000	620,000	625,000
対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	0.0	0.0	0.0

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input checked="" type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 高	<input type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明	システムは、概ね高水準で効率的に稼働している。			
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている			
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C : 適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input checked="" type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 大気環境の常時監視は法で定められた義務である。また、環境情報を迅速かつ適切に提供することは市民や社会のニーズであると認識している。			
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B : 一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C : 有効ではない					
		説明	市内環境のリアルタイムでの監視、システム化による各種事務処理の合理化は目的達成に有効である。			
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B : 一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C : 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 今まで大気、水質の常時監視システムは別々であったが、今回システムを統合して導入したことで機器整備や開発費の面で、コスト削減が図れた。			
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明	市内10箇所に測定局を設置し、市内全域の監視を実施している。			
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 市内環境の維持のためには、リアルタイムの監視が有効であり、現状の監視体制を維持することが必要である。		手段			
			削減額	千円		

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
		横須賀市、藤沢市についても今年度類似システムを導入したが、各市とも導入後の日が浅く、実態を比較するに至っていない。 本市システムの特徴としては、単なる大気、河川水質の常時監視テレメーターではなく、環境情報全体の管理、活用、積極的な公開、市民啓発や環境教育への応用を視野に入れている。
今後の進め方		総合評価に関する説明
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	環境情報システム整備という事業の意義・内容については、適切だと思われる。 システムのコストパフォーマンスを向上させるためには、日々の管理と活用が大切である。
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--